



軍務局

第... (Circular stamp)

遭難船救助之義ニ付具申

栗原縣赤穂郡坂越村

老百六拾七番地

一日本形船元亨丸

所有主

奥藤

研造

積込物千叁百貳拾九石

乗組人船長以下

拾四人

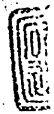
右船舶松浦所有船ニ有之本年八月廿日神奈川  
縣三浦郡浦賀港ヨ北風ニテ出帆ニ定齋船港兵庫  
縣坂越港へ歸航セシト航行ノ途次同夜午後九  
時四拾分頃颯瀆燈臺沖合ニ至リニ時拾七時

0036



夜ナリシカ忽チ一隻ノ汽船東洋方面ヨリ本  
船ニ向ヒ進行シ来リシヲ發見セリ時ニ弱風ニ  
テ自由ニ運轉スルヲ得ガルヲ以テ寧ろ航路ヲ  
變セス汽船ヲシテ衝突豫防ニ充分ナル餘地ヲ  
保タシメシト欲シ各點燈ニ注意シ本船ノ所在  
ヲ明瞭ニシ舞角又ハ高聲ヲ發シテ頻リニ注意  
ヲ促セシニ後レ周章セシカ再三針路ヲ左右ニ  
轉ジ向フ所ニ迷ヒ遂ニ注意モ其効ヲ奏セス俄  
然本船ニ衝突シ瞬時ニ顛覆シ是ヲ蒙ラシメタ  
リ本船乗組員ノ驚愕何者カ之ニ加シテ而シテ

0037



身組負ノ中四名ハ直々ニ談汽船ニ乗移リタル  
 ニ豈ニ因テハ外國船ニシテ船員モ亦皆外國人  
 ナラレトハ因テ身ヲ注意ヲ責ムルモ言語通セ  
 五形容ヲ以テ應接セシモ要領ヲ得ズ如何トモ  
 為ス下能ハサリシニ端艇ヲ以テ上陸セシムル  
 ノ模標ナルニヨリ劍崎燈臺ノ保護ヲ受ケレト  
 凌竟ニ右端艇ニ乗じ上陸スルニ際シ猶顛覆本  
 船ニ船員ノ残ルアリ救助セラレレトテ請フモ  
 彼レ應セズ劍崎燈臺下へ艇ヲ寄セテテ乞フモ  
 亦肯セズ故テ二月燈臺ヲ去ル迄教了ノ人家阻



隔且ツ岩礁夥多ナル地光キニ上陸セシメタリ  
 依テ汽船名及ビ船主名等燈臺ノ通譯ヲ求メ具  
 實名等ヲ聞カレト欲シ艇員ヲ上陸セシメレト  
 セシニ彼レ頑トシテ應セザルノミナラス却テ  
 拳銃或ハ斧ノ如キ兇器ヲ以テ脅シ遂ニ該汽船  
 ニ降り直チニ何地ヘカ適走セリ時ニ舟舩ハ顛  
 覆シタル俛ナルガ故ニ某組員ノ生死難計痛心  
 ニ堪ヘナリヲ以テ深夜暗黒ニシテ種々ノ困難  
 ニ遭遇セシモ幸シク人家ニ達シ一面ニハ燈臺  
 ノ保護ヲ仰キ一面ハ澳舩ヲ雇フテ舟舩ノ所在

ヲ探知スルノ手配ヲ定メ船員ノ救助ヲモテ舟艇  
体ノ救護ヲナサント種々畫策ノ間越テ翌二日  
ニ至リシニ潮流ノ急激ニ會シ覆没船体ハ流失  
セシトシ殆ト集組員モ危難ナラントスルヲ以  
テ非常ニ尽力セシモ船体大ニシテ如何トモ為  
ス可能ハス加之自体疲憊シ最早悲境ニ陥ルノ  
止ムヲ得ガハ至レリ然ルニ同日午後四時頃  
幸ニシテ帝國軍艦千歲號ノ附近ヲ進行セラル  
ルニヨリ一同必至救護ヲ求メツ、マリシニ忽  
チ同艦ヨリ端艇ヲ以テ救ヒ上ケラレタリ是ニ

0040

於テ乗組員一同欣作感極テ涙落ツルヲ知ラス  
綾七遭難ノ顛末ヲ陳述セシニ同艦長関下ハ事  
情ヲ情レニ令シテ徹夜船体ノ流失ヲ防ギ翌三  
日曉千葉縣安房郡館山港ノ安全ナル位置ニ到  
リ込マレ警察署浦役場等ニ充分ノ保護ヲ托セ  
ラレ横須賀軍港へ帰航セラレタリ其間本船員  
一同ハ親切懇篤ナル街救護ヲ蒙リタルハ筆紙  
ニ及ビ難ク為メニ船員死傷ナク船体モ安全ノ  
場所ニ寄留スルヲ得タルハ是レ偏ニ艦長関下  
ノ仁慈ナル保護ノ厚ヲ滿艦諸氏ノ厚誼ナル尽

0041

力ノ結果ニ基ク賜ニシテ永ク帝國海艦千歳号  
ノ鴻恩ヲ忘レサルハシ茲ニ船員一同ニ代リテ  
謹テ感謝仕候海艦千歳号へ右謝意御通達被成  
降度奉懇願候恐惶頓首

明治参拾貳年八月

右

奥藤研造



0042



海軍大臣山本權兵衛殿

0043

寫

横軍芽一三九七號

十月八日進達

英國商船救難報告

本月一日午前十時芽二海堡附近ニ坐礁セシ商船救助

ノ為ソ所屬船芽一及芽二横須賀丸ニ救難用具ヲ

積載シ運貨船ニ救助錨ヲ積ミ之ヲ曳キ出船十一

時現場ニ達シ高船ニ乗組ニ船長ニ面會シ曳出

シ方救助ノ旨ヲ告ケ深淺ヲ測リ船首ノ方位ヲ

見測セシニ北微西ニアリ依テ直ニ船首ヨリ北西

ニ救難錨(噸量貳)ヲ運搬シ之ヲ投シ本船ヲ維持

シ且フ之ヲ以テ曳出ノ用ニ供ス後又後部ヨリ之レ

ト平行ニ救難錨ヲ投ス(噸量一)而シテ後滿潮時ヲ

待ツ者全船ハ英國ヒンズブタン會社ノ汽船ニシテ

第三層

第二層

第一層

軍艦



第九號

0044

横濱ヨリ神戸ヲ經旅順港ニ行ク途次航路ヲ誤リ  
富津茅ニ海堡附近ニ坐礁セリ其位置船名噸數

等尤、揚ク  
坐礁ノ位置

横島南西微西二分ノ一西

茅ニ海堡旗竿西微南六ヤ一ブル

夏島西四分ノ三北

觀音崎南四分ノ三西

船名

アマガニス タンサンダーランド号

噸數

三千四百六拾噸

船長及乗組員數

0045

ホイトロツク、三十六人

積荷

五チールレール 千五百噸

吃水

前部十六ヒート六インチ

後部十三ヒート六インチ

但前部深ク後部浅クシテ船体ツリム甚ク悪シ

午後三時満潮時、至リ安出方試ミシ。潮足ラスレテ離礁シ能ク依テ船長、急速積荷ヲ卸レ且ツ船体ツリム直ク為メ、後部バルラストタシク、水ヲ満スコトヲ談ス直ニ差諾実行セリ翌二日午前三時半再ヒ卸エ方ツ為セシセ希望セシ積荷雨天、為ク元分揚ラスレテ是レ又莫効ナレ夫ヨリ一層積荷卸レ方

ヲ勵行セリ午後滿潮時迄ニ凡ソ百噸ヲ卸ス此日南  
東風ニシテ潮高ク且滿潮時早ク既ニ二時半ニ於テ  
受出方ニ着手スルヲ得タリ本船汽力第一第二横  
須賀丸及ヒ二個ノ故障雖も張リ曳出ニ方シヤレニ  
十分ノ後故障ナク離礁セリ本船ニ直ニ横濱ニ向ケ  
降港ス

右報告仕候也

追テ軍艦天城救助ノ爲メ来リタルモ水深淺ク本船ニ近  
寄ル能ハス不得止今艦ニ使用不仕候此故申副美也

明治三十二年十一月四日

横須賀鎮守軍港部長新井有貫

印

横須賀鎮守府司令長官男爵相浦紀道殿

0047

司令部

軍務部

共電

横須賀鎮守府電話

明治三十二年十一月一日  
午後一時四分受

海軍

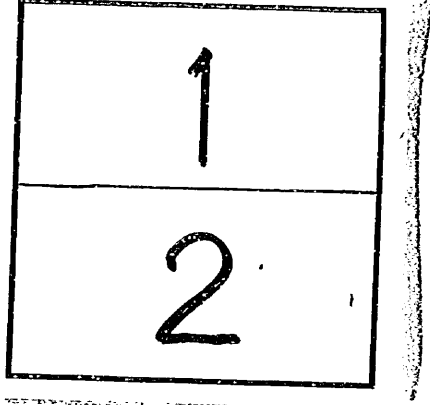
今、掃、陸、海、各、府、艦、ア、ワ、カ、コ、ス、ル、ニ、  
二、海、地、ノ、間、ニ、託、シ、テ、座、礁、シ、ス、ニ、依、リ、年、捲、  
部、ヨ、リ、救、助、船、ヲ、差、出、シ、引、下、ケ、シ、旨、也、

軍事課



0048

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 版 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

軍

軍



頓首再拜 曩ニ松井重作 所有西洋形風帆船豊川丸 暴風雨ニ

遭遇シテ東海ニ踪跡ヲ失スルヤ直ニ人ヲ沿岸地ニ馳セテ

搜索スル所アリシモ遂ニ得ル所アラス只日夜痛心慟哭スル

モ元ヨリ私人ノ方尚進テ十分ノ搜索ヲナスル能ス殆ト為ス所

ヲ知ラサルニ至ル因テ之ヲ 貴大臣及横須賀鎮守府へ懇

願シタルニ特ニ之ヲ許容セラレ直ニ軍艦天城ヲ派遣シ

伊豆七島付近ヲ搜索セラル其周到ニシテ懇篤ナル百方

盡サル所ナシ洵ニ照代ノ恩惠誰カ感泣セサルモノアラシヤ

感激ノ餘蕪辭ヲ顧ス謹而茲ニ謝辭ヲ呈ス恐惶謹言

0050

0049



願シタルニ特ニ之ヲ許容セラレ直ニ軍艦天城ヲ派遣シ  
伊豆七島付近ヲ搜索セラル其周到ニシテ懇篤ナル百方  
盡サル所ナシ洵ニ照代ノ恩惠誰カ感泣セサルモノアラニヤ  
感激ノ餘蕪辭ヲ顧ス謹而茲ニ謝辭ヲ呈ス恐惶謹言

愛知縣三河國豊橋町大字船所

明治廿二年十月

右 重作妻

きた

右 親戚

松井三九郎

海軍大臣山本權兵衛殿

閣下